



平成27年 **12月13日** (日)

午後**3時**～午後**5時** **聴講無料**

場所：中社公会堂 (長野市戸隠 3422)

事前申し込み必要 (下の申込書にてお願いします。)

主催：戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会

後援：戸隠地区住民自治協議会、
長野市、長野市教育委員会

交通機関(バス)

JR 長野駅から、長野駅善光寺口7番のりば乗車
(バードライン経由約50分)、中社大門下車 すぐ

平成27年度 戸隠まちづくりシンポジウム

戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会では、戸隠の歴史と文化を活かした魅力あるまちづくりについて、地域の皆様と一緒に考えていくために「平成27年度 戸隠まちづくりシンポジウム」を開催します。

プログラム

■第1部 先進地の事例を学ぼう

講師 (一社) 稲荷山町くらしと心を育む会

NPO 法人 稲荷山蔵の会

千曲市教育委員会 歴史文化財センター

「千曲市稲荷山重要伝統的建造物群保存
地区における“まちづくり”について」

■第2部 戸隠のまちづくりについて

話し合おう (予定)

シンポジウム終了後に懇親会を開催します (会費 3,500 円)。

参加ご希望の方は、下の申込書を持参・FAXのいずれかで
12月10日(木)までにお申し込みください。

申し込みおよび問い合わせ先

Fax : 026-254-3147

Tel : 026-254-2044

戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会事務局 (宿坊極意内)



【参加申込書】

申込み締切り：12月10日(木)

参加者お名前

ご住所

ご連絡先

(電話番号またはメールアドレス)

〒

シンポジウム・懇親会
(参加する内容に○をしてください。)

■千曲市稲荷山重要伝統的建造物群保存地区

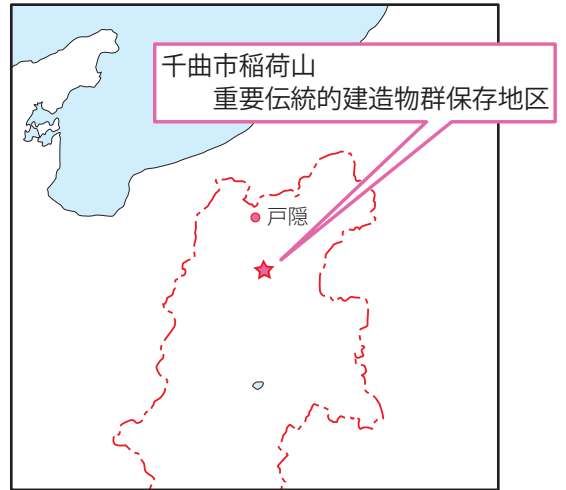
所在地：長野県千曲市大字稲荷山字町屋敷他

選定：平成26年12月10日

面積：約13.0ha

千曲市の北端、市を南北を貫通する千曲川の西岸に保存地区があります。

千曲市稲荷山重要伝統的建造物群保存地区は、近世末期から近代にかけて商業地として栄えた東西約200m、南北約850m、面積約13.0haの範囲です。



天正10年（1582）頃に稲荷山城が築かれ、城の西側に、南北に延びる町が形成されました。慶長3年（1598）の廃城後、江戸時代には北国西往還（通称、善光寺街道）の宿場町として機能し、19世紀初期以降、次第に商家町としての性格をもつようになります。弘化4年（1847）の善光寺地震及び地震後に断続的に発生した火災により、町は壊滅的な被害を受けますが、震災復興後、近世末期から近代にかけて、生糸や繊維製品の集散地として、北信有数の商業地として繁栄しました。

町の中央を街道が南北に貫通し、中程に街道が屈折する「鍵の手」をもっています。町の周囲に近世以来の水路や地割を良く残しています。敷地は、街道に面して短冊形に割られ、主屋が建てられます。主屋の背後には土蔵や附属屋が建てられ、裏通りには土蔵が建ち並び、土蔵の間に門が構えられています。

現存する建物は弘化4年の震災後の建物で、震災直後のものは中二階で、二階の柱や軒裏を土壁で塗り上げています。また、明治中期以降は本二階で、分厚い土壁を軒まで塗り上げた重厚な主屋も建てられるようになります。その一方で、町の中心部でも茅葺きの建物が建てられ、茅葺きのような屋根勾配の強い瓦葺きの建物も建てられるなど、多様な様式の主屋が混在することが町並みの特徴となっています。

（文化庁資料より）



発行日／平成27年12月1日

発行／戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会

TEL／026-254-2044（戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会事務局 宿坊極意）